

みなみ力
で
はぐくむ

京都市南区基本計画 (2021-2025)

みんなの笑顔があふれるまち

南区

健やかに
暮らせる
まち

子ども・
若者が
育つまち

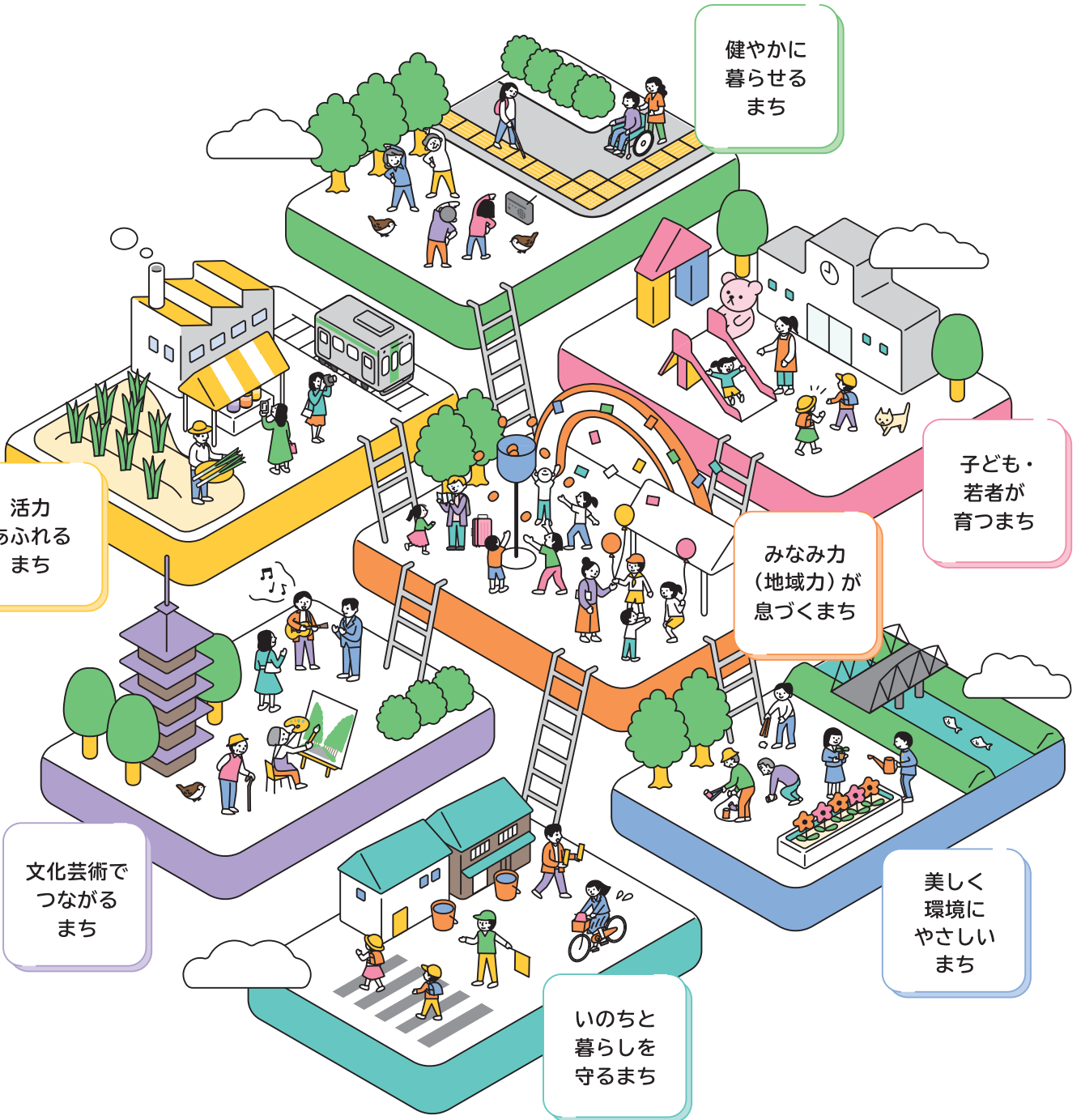
みなみ力
(地域力)が
息づくまち

美しく
環境に
やさしい
まち

いのちと
暮らしを
守るまち

活力
あふれる
まち

文化芸術で
つながる
まち



参加と協働による持続可能なまちづくりを

「市民・区民が主役のまちづくり」



京都市長
門川 大作

私は市長就任以来、この方針を軸に市政に邁進してまいりました。そして、未曾有のコロナ禍の中、改めてこの言葉の大切さを噛み締めています。

コロナ危機と、収支不均衡の構造が続いてきたことによる財政危機。本市は現在、そんな“2つの危機”に直面しています。同時に、人口減少や地球温暖化など様々な社会課題にも立ち向かっているところです。区民の皆様のお心強いお取組の一つ一つが、困難を乗り越え、より良い社会を目指すための大きな力となります。

この度策定した基本計画は、南区の明るい明日への礎となるもの。人と人との結びつきや活発な地域活動といった、この区ならではの“みなみ力（地域力）”をまちづくりの基盤に据え、暮らしの豊かさとまちの活力につなげていきます。南区の元氣は京都市全体の未来を創り、「誰一人取り残さない」持続可能な社会の構築に向けた大きな力となることでしょう。

最後になりましたが、本計画の策定に御協力いただいた方々、貴重な御意見、御提案を寄せてくださった全ての皆様に心から感謝申し上げます。

“みなみ力”で“笑顔があふれる”まちづくりを推進



南区長
並川 哲男

南区では、他の行政区に先駆けて始められた「一斉清掃」や、多くの皆様が準備段階から汗を流される「ふれあいまつり」をはじめ、いたるところで“みなみ力”を発揮した取組が行われています。

本計画も、この“みなみ力”を結集して、区民・事業者の皆様、区役所等の関係機関が一体となって取り組むまちづくりの指針として策定したものです。

計画策定に当たりましては、3,000人以上の区民の皆様からの御意見を踏まえて、南区基本計画策定委員会の委員の皆様にも活発に御議論いただくとともに、計画キャッチフレーズにも、将来を担う中高生から多く寄せられた“笑顔があふれる”をキーワードとして取り入れ、幅広い世代の思いを織り込んだ計画となりました。計画策定に御尽力、御協力いただいた皆様に厚く御礼申し上げます。

コロナ禍により、様々な活動に制約が生じる状況ではありますが、南区が誇る“みなみ力”を基盤にした取組を一層推し進め、“笑顔があふれるまち”を次の世代にしっかりと引き継いでまいります。皆様の御協力と御参画をお願いいたします。

もくじ

第 1 章 南区基本計画策定に当たって

計画策定の背景	4
計画の策定に当たって	4
計画の位置付け	5

第 2 章 南区の概要

位置と地勢	6
南区の人口	7
南区の特徴	8
南区の現状と課題	10

第 3 章 めざす未来像と取組

めざす区の未来像	12
未来像 ■ みなみ力（地域力）が息づくまち	14
未来像 ■ 子ども・若者が育つまち	16
未来像 ■ 健やかに暮らせるまち	18
未来像 ■ 活力あふれるまち	20
未来像 ■ 文化芸術でつながるまち	22
未来像 ■ いのちと暮らしを守るまち	24
未来像 ■ 美しく環境にやさしいまち	26

第 4 章 計画の推進に向けて

区民と行政・事業者等との協働による取組	28
南区新総合庁舎の整備に向けた検討	29

資料編

京都市の厳しい財政状況	30
区民意見を踏まえた計画策定	31
南区基本計画の策定経過	35

第1章 南区基本計画策定に当たって

計画策定の背景

- 少子化や長寿命化に伴う南区に居住される方の世帯構造の変化，コミュニティの変化，地域社会の国際化の進展，集中豪雨や巨大台風など自然災害の脅威の増加等，社会状況が刻々と変化しています。
- また，この間の新型コロナウイルス感染症の拡大が，市民生活や地域経済に大きな影響を及ぼしており，ウィズコロナ・ポストコロナ社会を見据えた取組が求められています。
- 本市においても，元々の脆弱な財政基盤に加え，新型コロナウイルス感染症の拡大等の影響もあり，財政状況がこれまでに経験のない危機的な状況にあることから，抜本的な改革を実施しなければ今までどおりの行政サービスを維持できなくなる可能性が出てきています（P30参照）。

このような状況のもと，南区で暮らし，働き，学ぶ方々や各種団体，企業，区役所をはじめとした関係機関が一体となって，危機感を共有しつつ，若者・子育て世代の定住促進など明るい未来を展望して，「持続可能なまちづくり」を進めていくための指針として「南区基本計画」を策定しました。

計画の策定に当たって

これまでの基本計画（第1期及び第2期）を踏まえつつ，様々な分野に知見をお持ちの方で構成された「南区基本計画策定委員会」の御議論や区民の皆様方へのアンケート，計画素案に対するパブリックコメントなど幅広い御意見を反映させた計画として策定しました。

また，自然災害や新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行に対応する「レジリエンス^{*}」の重要性の高まり，誰一人取り残さない「持続可能な開発目標（SDGs）」の国連での採択等の時代潮流を踏まえた計画としています。

^{*}レジリエンス…様々な危機からの「回復力，復元力，強靱性（しなやかな強さ）」。

また，ダメージを受けても粘り強くしなやかに元に戻りながら，以前よりもより良く立ち直る力

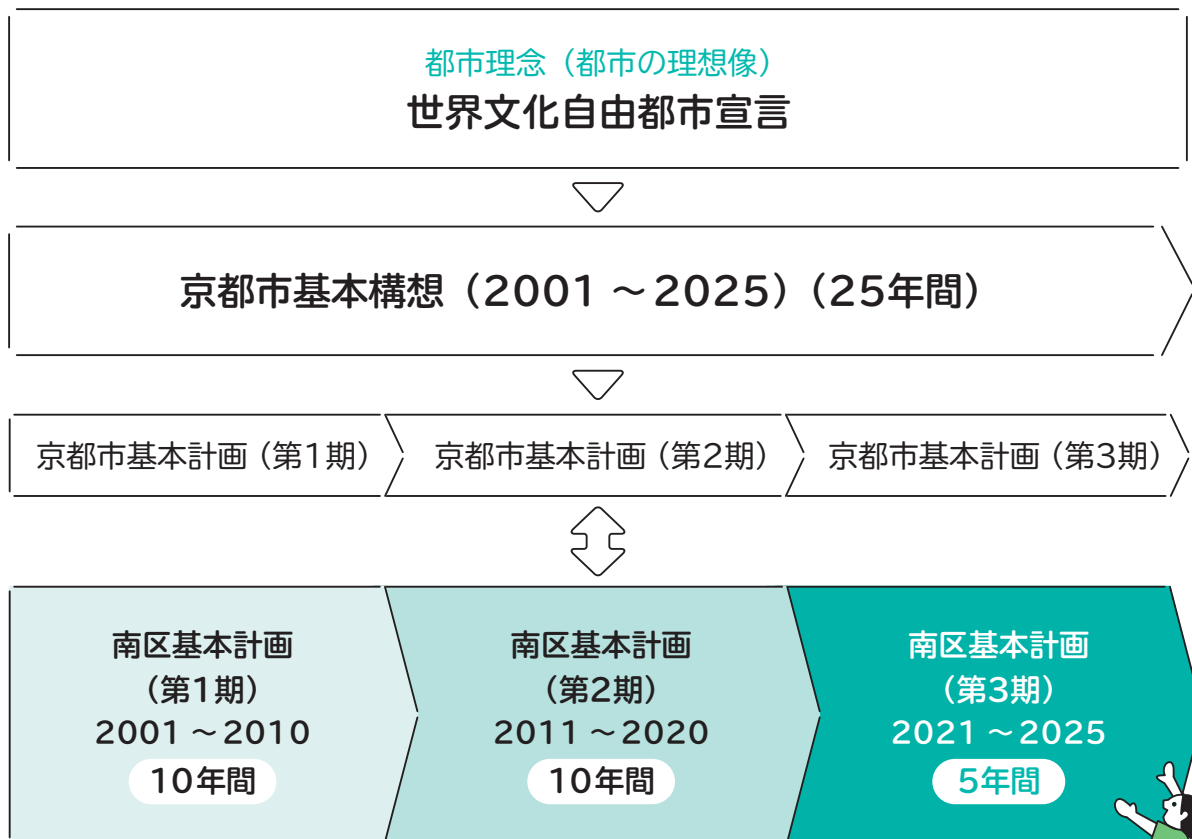
アンケート
(約2,700人)，
パブリックコメント
(691人)
詳しくはP31～34



区内の中高生
からも
多くの意見が
寄せられました！



計画の位置付け



【計画期間】 令和3年度（2021年度）～令和7年（2025年）

※京都市の全体の計画である「京都市基本計画（第3期）」と相互に補完しながら、計画を推進します。



世界文化自由都市宣言

市会の賛同を得て昭和53（1978）年10月15日宣言

都市は、理想を必要とする。その理想が世界の現状の正しい認識と自己の伝統の深い省察の上に立ち、市民がその実現に努力するならば、その都市は世界史に大きな役割を果たすであろう。われわれは、ここにわが京都を世界文化自由都市と宣言する。

世界文化自由都市とは、全世界のひとびとが、人種、宗教、社会体制の相違を超えて、平和のうちに、ここに自由につどい、自由な文化交流を行う都市をいうのである。

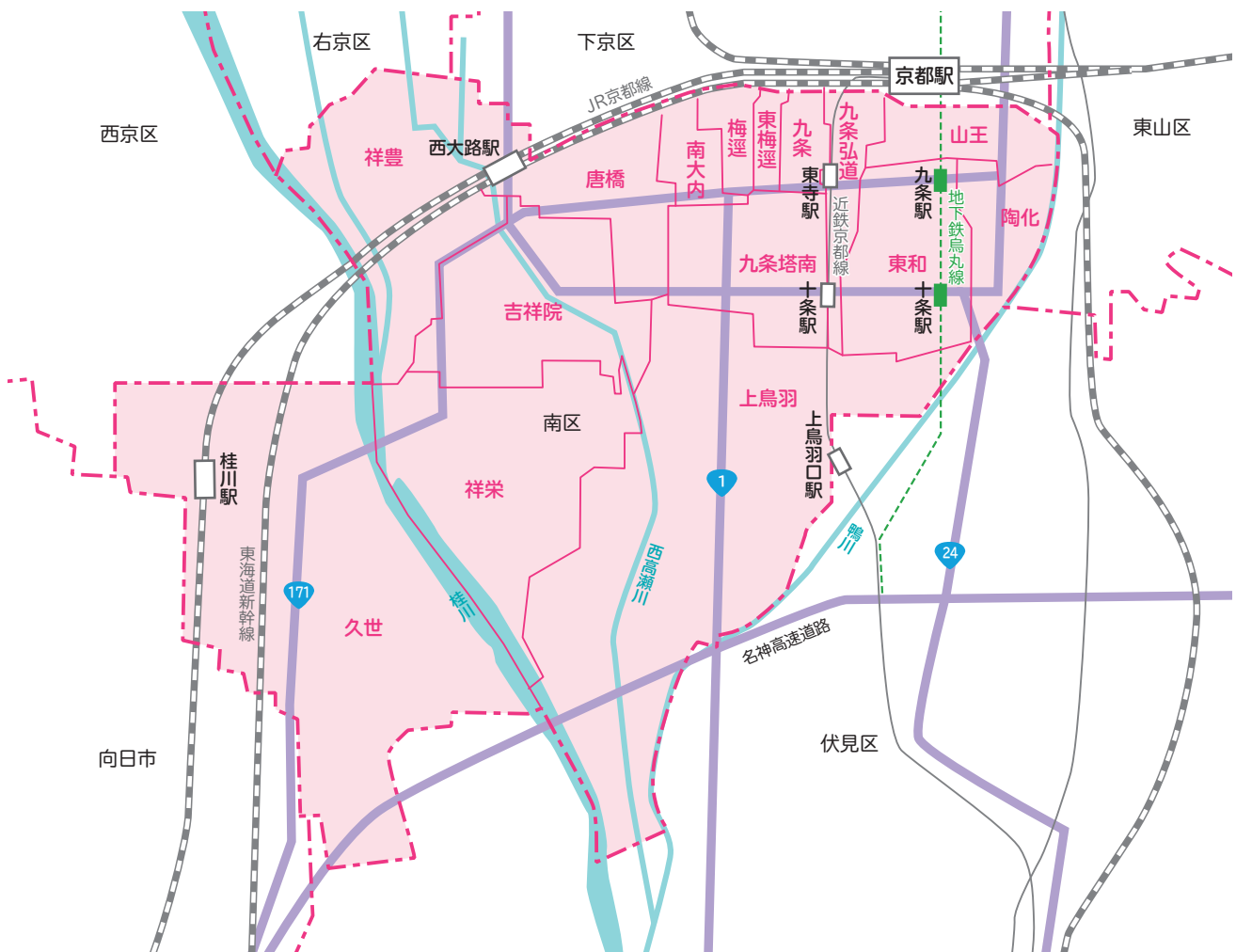
京都は、古い文化遺産と美しい自然景観を保持してきた千年の都であるが、今日においては、ただ過去の栄光のみを誇り、孤立して生きるべきではない。広く世界と文化的に交わることによって、優れた文化を創造し続ける永久に新しい文化都市でなければならない。われわれは、京都を世界文化交流の中心にすえるべきである。

もとより、理想の宣言はやさしく、その実行はむずかしい。われわれ市民は、ここに高い理想に向かって進み出ることを静かに決意して、これを誓うものである。

第2章 南区の概要

位置と地勢

南区は、京都市の南西部に位置し、東は東山区・伏見区、西は西京区・向日市、北は下京区・右京区、南は伏見区に接しています。区内は15の学区から構成されています。



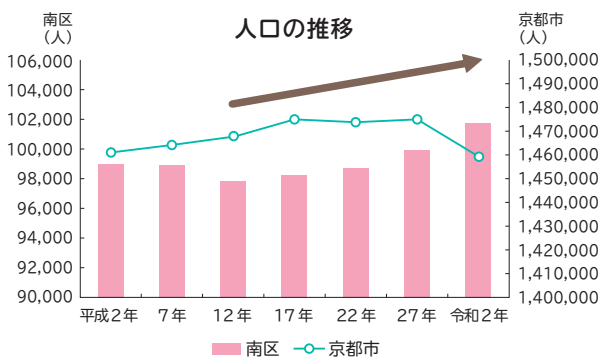
南区の人口

南区は、世帯数は約5万世帯、人口約10万人が暮らしており、京都市全体の人口が減少傾向にあるのに対して、南区は世帯数、人口ともに増加傾向にあります。

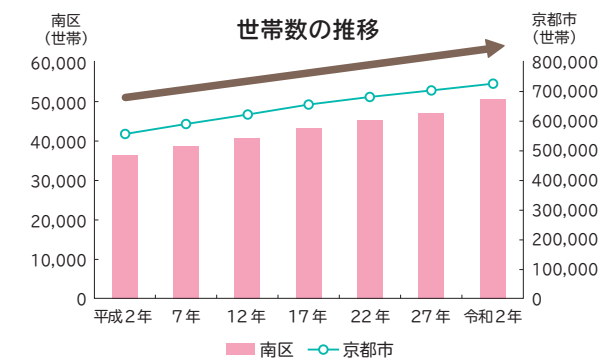
京都市と南区の人口ピラミッドを比較すると、南区は「15～24歳」の割合が低い一方で、「25～39歳」の割合が高くなっています。

人口動態について、南区では、平成7年～16年までは自然増よりも社会減が上回る傾向にありましたが、平成17年以降は自然減よりも社会増が上回る傾向にあります。

人口及び世帯数の推移

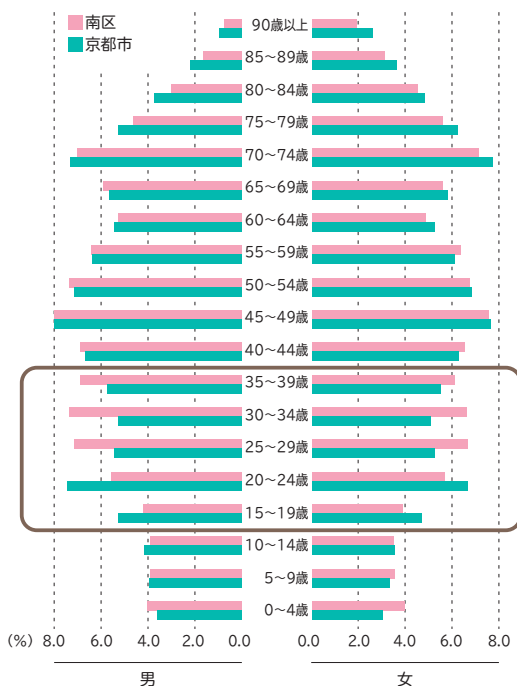


出典：国勢調査，京都市推計人口



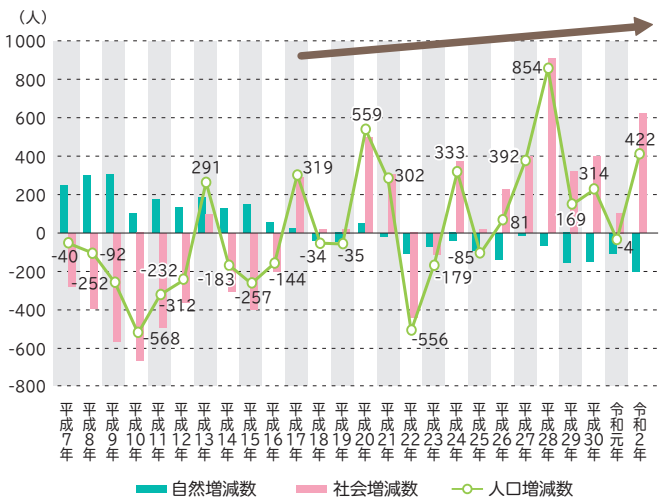
出典：国勢調査，京都市推計人口

人口ピラミッド (令和2年)



出典：京都市推計人口

人口動態 (南区)



出典：京都市統計資料



南区の特徴

地域の結びつきが強いまちです

南区は、人と人との固い結びつきや活発な地域活動があるなど、南区ならではのみなみ力（地域力）をしっかりと受け継いできたまちです。毎回約4,500人ももの区民が参加される年4回の「南区一斉清掃」による美化活動、各学区における子どもの見守り活動や防災訓練の実施等、地域一丸となった取組が定着しています。



南区一斉清掃



南区民ふれあいまつり



避難所体験研修

地域ぐるみで子どもを育むまちです

南区は、住民全体での子育ての取組が先進的に実施されるなど、地域ぐるみでの子育て支援の風土がしっかりと根付き、受け継がれているまちです。令和元年も合計特殊出生率が1.49と、全国・京都市の値を上回り、11行政区中1位です。



中学生と地域住民の
ふれあいトーク

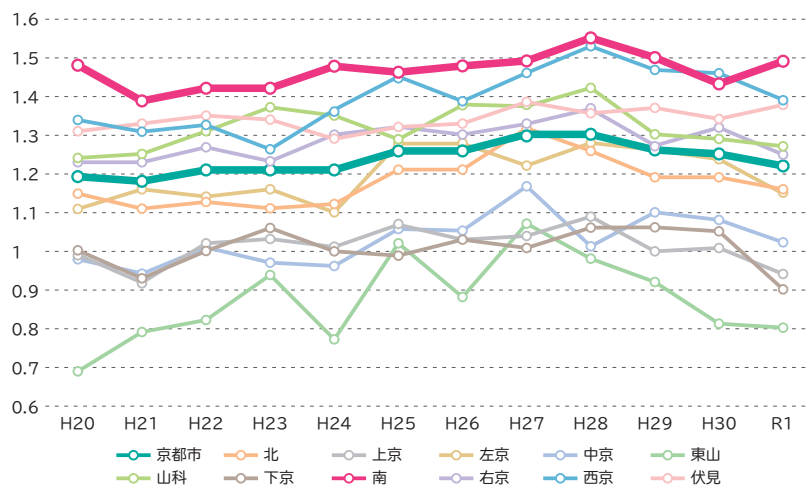


子育て支援ルーム
「すくすくみなみ」



上鳥羽子どもあんしん
あんぜんパレード

合計特殊出生率



出典：京都市統計資料

ものづくりのまちです

南区は、主要幹線道路が通っているほか、名神高速道路インターチェンジにも近く、交通の利便性等から、多くの業種の企業が集積する「ものづくりのまち」です。

特に製造業は、事業所・従業者ともに11行政区中で1番多く、「ものづくりのまち・京都」を支えています。



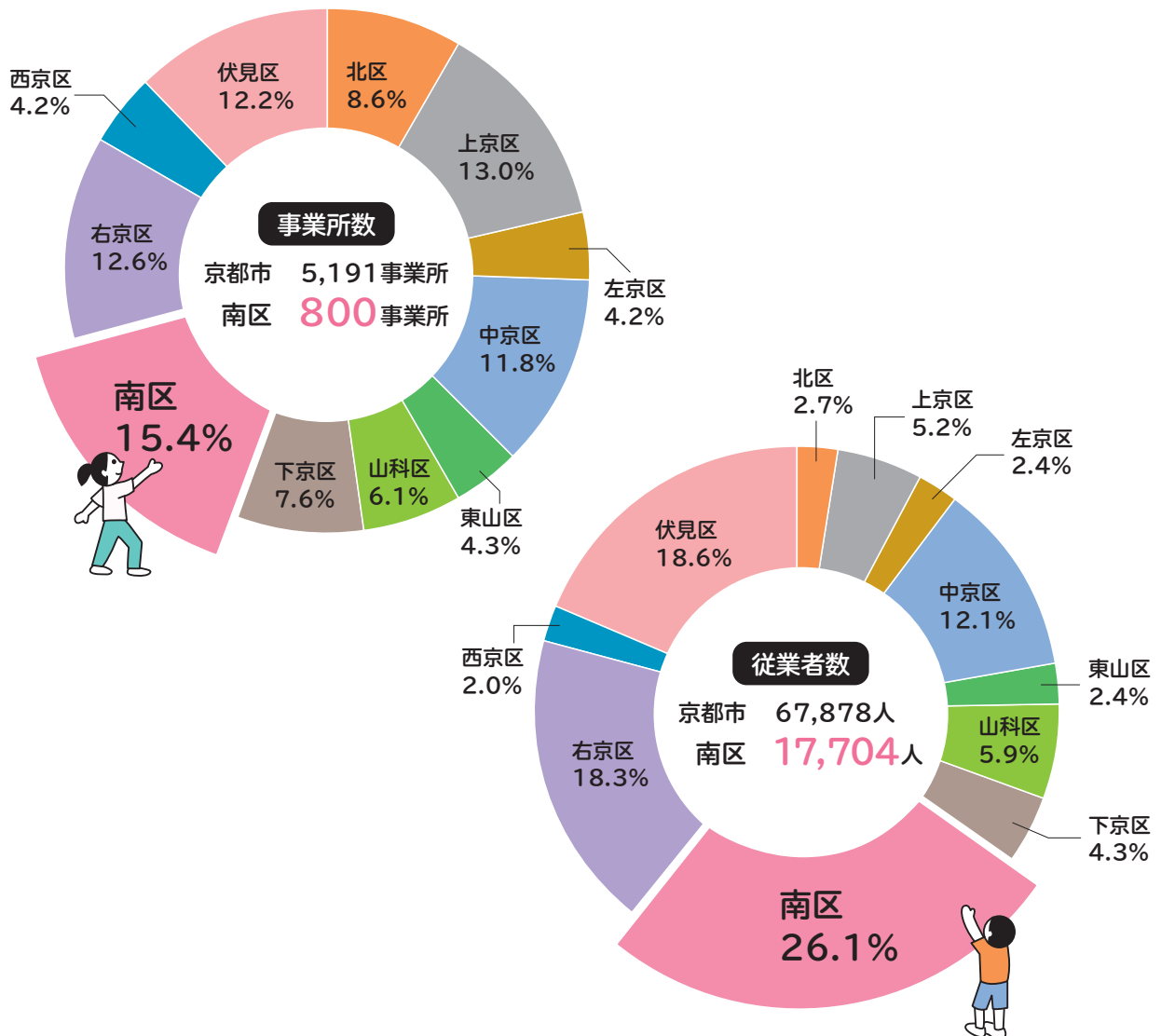
企業見学等を通じた区民と企業の交流



らくなん進都のまちづくり

<製造業> 事業所数及び従業者数

出典：平成28年経済センサス活動調査



南区の現状と課題

みなみ力（地域力）

- 京都市全体の人口が減少傾向にあるのに対して、南区は近年、20～30歳代の若い世代を中心に、他地域からの転入が転出を超過しており、人口・世帯数ともに増加傾向にあります。自治会・町内会への加入率は年々低下しています。
- また、新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、自治会等の会合や地域活動が制約される一方、自宅や地域で過ごす時間が増加しています。
- このような中、住民同士の幅広い交流を促進し、みなみ力（地域力）を若い世代に引き継いでいく取組が必要です。

子育て・若者育成

- 南区は、比較的若い世代の人口流入により、合計特殊出生率は11行政区の中で長年上位で、子どもの出生数も横ばいを維持しており、他の行政区と比べると5歳未満の人口の割合が高いことも特徴となっています。
- そのため、次世代を担う子どもたちを健全に育むため、また子どもたちや子育て世代に「南区で住み続けたい」と思ってもらえるように、子どもたちを取り巻く環境づくりや子育て世代への支援が求められます。

健康・福祉・人権

- 南区の令和元年の高齢化率は約26%と、他の行政区と比べると低い水準ではあるものの高齡化が進んでいます。
- お年寄りや障害のある方をはじめ、誰もが住み慣れた地域で安心して健やかに暮らしていけるような環境づくりと、支援が必要です。
- 世界各国から様々な人々が集まってきている状況を踏まえ、多様な方々の人権を尊重するよう一人ひとりが心掛けていく必要があります。



産業（企業・農業）・観光・公共交通

- 主要幹線道路があり名神高速道路のインターチェンジにも近いといった交通利便性を生かして、幅広い業種の企業が集積し、近年は製造品出荷額等も増加傾向にあるなど、「ものづくりのまち」となっています。その特徴をさらに生かし、区民と企業の連携を力に、産業を活性化していくことが求められます。
- 九条ねぎに代表される農業も、南区の主要な産業ですが、徐々に宅地化が進んでおり、住環境と産業環境との調和のとれたまちづくりが求められます。
- 世界遺産である東寺があり、全世界から来訪がありますが、今後は、地域の伝統文化や歴史、美しい自然等の地域資源を生かした観光も大切です。

文化芸術・文化遺産・多文化共生

- 南区に住む外国籍市民は増加傾向にあり、以前に比べてその国籍も多様化しています。
- 様々な国籍の方々と相互交流できる機会の増加は、多様な文化の交流を促進し、新たな文化や芸術を生み出す可能性があります。
- 京都市では、平成28年度に「京都駅東南部エリア活性化方針」を策定し、「文化芸術」と「若者」を基軸としたまちづくりを進めています。

安心安全・防災

- 近年は集中豪雨や巨大台風など自然災害が激甚化しており、桂川や鴨川の氾濫等を想定した防災対策が必要となっています。
- また、新型コロナウイルス等の新たな感染症の下での大規模地震・水害の発生など、複合的な危機を想定した対策が求められます。
- 平成22年から令和2年にかけて刑法犯認知件数は約7割減少、交通事故発生件数も約6割減少しており、安心安全のまちづくりが進んでいます。
- まちなかでは空き家が増加しており、管理が不十分な場合、住民にとっては環境面や防犯面での課題となってくる可能性があります。

環境・景観・緑化・まちの美化

- 南区では、年4回「南区一斉清掃」を実施するなど、環境やまちの美化に対する区民の意識は高く、これらの意識や取組を新しく区内に居住された方や若い世代に伝えていくことが必要です。

第3章 めざす未来像と取組

めざす区の未来像

まちづくりの原動力となる、地域での人と人との結びつきや活発な地域活動といった南区ならではの“みなみ力（地域力）”を南区基本計画の基盤として位置付け、「みなみ力（地域力）が息づくまち」をすべての未来像の中心として、7つの未来像を描きます。



みなみ力
(地域力)が
息づくまち

人と人の結びつきをさらに活発に

- 取組方針
- ① みなみ力（地域力）を支える人づくり
 - ② みなみ力（地域力）を活性化させる仕組みづくり

子ども・
若者が
育つまち

地域ぐるみで子ども・若者を大切に

- 取組方針
- ① 子ども・若者と育ち合う地域づくり
 - ② 安心して子育てができる環境づくり

健やかに
暮らせる
まち

誰もが住み慣れた地域で安心して健やかに

- 取組方針
- ① 人生100年時代を見据えた健康づくりの推進
 - ② 高齢者がいきいきと暮らせるまちづくり
 - ③ 「誰一人取り残さない」環境づくり
 - ④ すべての人の人権が尊重されるまちづくり

活力
あふれる
まち

地域資源を生かしたにぎわいの創出

- 取組方針
- ① まちの活力を支える地域企業・中小企業の活性化
 - ② 暮らしを支える地域商業の活性化
 - ③ 地元産京野菜を生かした農業の活性化
 - ④ 市民生活と調和のとれた観光振興
 - ⑤ 公共交通ネットワークの充実

文化芸術で
つながる
まち

文化芸術で多様なつながりを生み出す拠点に

- 取組方針
- ① 多文化共生のまちづくり
 - ② 文化芸術が生まれ、広がるまちづくり
 - ③ 文化遺産を大切にすまちづくり

いのちと
暮らしを
守るまち

子どもからお年寄りまで誰もが安心安全に

- 取組方針
- ① 災害に強いまちづくりの推進
 - ② 安心安全で快適な環境づくり

美しく
環境に
やさしい
まち

豊かな自然に親しむとともに環境と共生する

- 取組方針
- ① 区民も来訪者もみんなで取り組む美しいまち
 - ② 地球環境にやさしい取組の推進
 - ③ 緑化の推進・公園の活用
 - ④ 地域の特徴を生かした調和のとれた景観づくり

みなみ力（地域力）が息づく

南区では、「地域での人と人との結びつき」や「活発な地域活動」といった南区ならではの“みなみ力（地域力）”を生かしながら、住み良いまちづくりを進めてきました。

このまちづくりの原動力となる“みなみ力（地域力）”がしっかりと次の世代に受け継がれ、幅広い世代が「住んでいてよかった・住み続けたい」と感じられる、魅力や活力のある持続可能なまちを目指します。

取組方針

① みなみ力（地域力）を支える人づくり

近年、ライフスタイルの変化など様々な要因によるつながりの希薄化や、高齢化等による地域の担い手不足が顕在化してきています。その中でも、すべてのまちづくりの原動力となるみなみ力（地域力）を維持していくため、育まれてきた地域への愛着・誇りを次世代へ継承するとともに、オール南区で、まちづくりの新たな担い手の育成を推進します。



自治会・町内会への加入促進

主要な
取組例

- 自治会・町内会への加入促進による安定した基盤づくり
- 地域への愛着・誇りのさらなる醸成と次の世代への伝承
- 地域行事やコミュニティ活動等を通じた新たな担い手の育成
- 地域・学校・行政等の連携による多世代間の区民交流
- 地域活動ボランティアの育成に向けた取組の実施 等

まち



取組方針

② みなみ力（地域力）を活性化させる仕組みづくり

子どもから高齢者まで世代を超えて積極的な交流を図ることにより、みなみ力（地域力）を活性化させる仕組みづくりを推進します。



南区民ふれあいまつり



学区民体育祭

主要な
取組例

- 区民、各種団体、NPO等の地域主体によるまちづくり活動の充実
- 地域行事やコミュニティ活動へ参加しやすくなるきっかけづくり
- みんなが交流できる文化活動・生涯学習・スポーツ活動の推進
- あらゆる世代に向けた地域情報の発信とその共有による交流
- 円滑な活動を支えるICT（情報通信技術）ツールの導入推進
- 真のワーク・ライフ・バランス[※]の推進 等

※真のワーク・ライフ・バランス…仕事と家庭生活の調和に加え、地域活動や社会貢献活動に積極的に参加することで、誰もが生きがいと充実感を持って、心豊かな人生を送ることができる考え方



子ども・若者が育つまち

南区では、他の行政区に先駆け、地域ぐるみでの子育て支援の風土がしっかりと根付き、今も地域の隅々まで脈々と受け継がれています。

この風土を絶やさず、すべての子ども・若者・子育て家庭が地域ぐるみで大切にされ、ともに育ち合う、笑顔あふれるまちを目指します。

取組方針

① 子ども・若者と育ち合う地域づくり

次世代を担う子どもや若者の学び・成長を地域ぐるみで支え活躍できる環境づくりを進めるとともに、子ども・若者・子育て家庭と積極的に交流を図ることにより、その関わりから、ともに学び・成長できる地域づくりを推進します。



ふれあい（いきいき）トーク

主要な
取組例

- 子育て支援活動の促進と子どもをともに育む風土の維持・継承
- 子育て家庭や子どもの孤立防止の取組の推進
- 地域と学校が連携した子どもの見守り・安全対策の推進
- 地域・学校・行政等の連携による多世代間の区民交流（再掲）
- 地域・区内企業等との連携による学生等への学びの場の提供
- 子ども・若者の知恵と行動力が地域で発揮できる環境づくり 等



取組方針

② 安心して子育てができる環境づくり

子育て家庭と地域・行政・関連団体との連携・交流により、子どもを安心して育むことができる環境づくりを推進します。



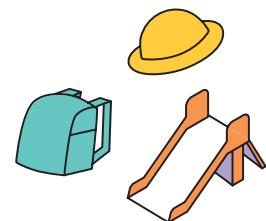
子育て支援ルーム「すくすくみなみ」



南区内のイオングループ3店舗で
開催している出張児童館

主要な
取組例

- 保育サービスの充実と子どもの居場所づくり
- 子育て支援ボランティアの育成強化やボランティア相互のネットワークの形成促進
- 子育て支援情報の発信
- 真のワーク・ライフ・バランスの推進（再掲）等



健やかに暮らせるまち

南区では、「いのちと人権」をキーワードに、誰もがいつまでも健やかに暮らせ、誰もが主役になるまちを目指して、地域一体となって取組を進めてきました。

お年寄りや障害のある方をはじめ、誰もが住み慣れた地域で安心して健やかに暮らせるまちを目指します。

取組方針

1 人生100年時代を見据えた健康づくりの推進

人生100年時代を迎える中、すべての区民一人ひとりが、それぞれのライフステージや心身の状況に応じて、楽しみながら、主体的に健康づくりに取り組む環境づくりを推進します。



健康教室やラジオ体操



健康づくりサポーター「みなみ〜ず」

主要な
取組例

- 地域主体の健康づくり活動の推進
- 食育活動による健康づくりの推進
- こころの健康づくりの推進
- 保健、医療、福祉の各分野が連携し、健康づくりを専門的に支えるネットワークの充実
- あらゆる世代に向けた情報の発信とその共有による交流 等

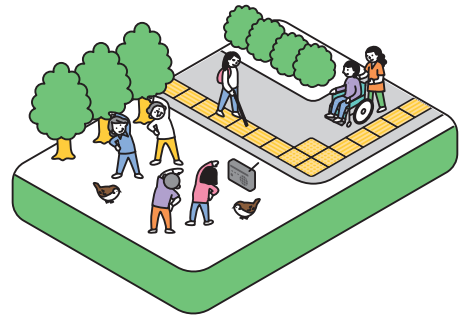
取組方針

2 高齢者がいきいきと暮らせるまちづくり

長寿命化がさらに進む中、高齢者がこれまでに培ってきた知識・経験・特技を生かし、高齢者もまちづくりの主役となり、いきいき暮らせる仕組みづくりを進めます。

主要な
取組例

- 学校、企業で高齢者の知識や経験を生かすことができる仕組みづくり
- 老老介護や一人暮らしの高齢者を地域で支える健康・見守り活動の推進
- 医療・介護・生活支援サービスの提供体制の強化
- 介護サービス等の充実 等



取組方針

3 「誰一人取り残さない」環境づくり

多様化・複雑化する社会の中で、障害のある方、介護の必要な方、ひきこもりの方やその家族等、支援の必要な人を地域全体で支え、誰一人取り残さない環境づくりを進めます。

主要な取組例

- 障害のある方、介護の必要な方、ひきこもりの方等、支援の必要な人を支える取組の推進
- 見守り・相談支援活動、居場所づくりの促進
- あらゆる人が社会参加できる環境づくりの推進
- バリアフリー化の促進やユニバーサルデザインの普及啓発活動等の実施
- 情報の発信及び共有による様々な立場の相互理解の促進 等



あらゆる人が社会参加できる環境づくり

取組方針

4 すべての人の人権が尊重されるまちづくり

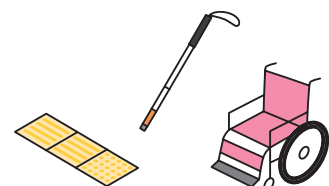
性別、年齢、障害の有無、生まれや生い立ち、国籍、民族などに関係なく、一人ひとりが人権を尊重し、お互いを認め合えるまちづくりを推進します。

主要な取組例

- 講演会や映画観賞会を通じた人権教育・啓発活動の推進
- DV(配偶者・パートナー等に対する暴力)などあらゆる暴力の根絶に向けた啓発活動の推進
- 児童虐待の未然防止・早期発見・予防啓発等、多様な関係機関が連携した取組の推進
- 感染症患者等への偏見や差別に対する啓発活動の推進 等



人権講演会



活力あふれるまち

南区は、幅広い企業が集積する「ものづくりの拠点」であるとともに、九条ねぎをはじめとする農業など、地場産業も盛んなまちです。近年、文化芸術を通じた新しいまちづくりも進められています。

区民と企業の交流を通して、企業活動や地場産業が活性化し、持続的に発展することによって、力強い経済成長を実現し、にぎわいと活力にあふれるまちを目指します。

取組方針

① まちの活力を支える地域企業・中小企業の活性化

地域の特性を生かし、区民との交流等を通じて、区内で創業する企業、事業者の振興を図るとともに、産学公民の連携により地域企業・中小企業の活性化を図ります。



企業見学等を通じた区民と企業の交流

主要な
取組例

- 「京都・地域企業宣言」に基づく地域と企業が一体となった取組の推進
- 区内企業見学会等を通じた地域と企業の交流の促進
- 地域活性化や社会課題の解決に取り組む企業と地域・学校・行政の連携促進
- 若い世代に向けた区内企業の魅力発信
- 産学公民連携、企業間・異分野間での交流等による、新たな地域産業の創出や継承
- 活力ある産業を支える土地・空間利用の促進 等

取組方針

② 暮らしを支える地域商業の活性化

住民と地域コミュニティの間でもある地域商業者が一体となって、親しみのある商業の活性化を目指します。

主要な
取組例

- 地域商店の活性化によるまちの活力の向上
- 幅広い年齢層を支える地域商店の生活支援機能の向上 等



取組方針

3 地元産京野菜を生かした農業の活性化

地元産京野菜の積極的な活用やPR等により生産の振興を図り、農業の活性化や地産地消の促進に努めます。

主要な取組例

- 地元産京野菜を使った食育活動の推進
- 地域や関係機関と協働で地元産京野菜のPRを促進 等



京野菜×京都肉マルシェ

取組方針

4 市民生活と調和のとれた観光振興

区内の観光資源を発掘・活用し、区内外へと南区の魅力を広く発信することにより、観光振興に取り組むとともに、観光客のマナー問題等の対策を推進していきます。

主要な取組例

- 南区の魅力ある観光資源のさらなる発掘・創出
- SNS等を活用した国内外に向けた南区の魅力の発信
- 地域・行政が連携した外国人観光客のマナー問題等への対策強化 等



SNSフォトコンテスト「みなみなみっけ」

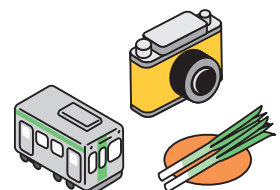
取組方針

5 公共交通ネットワークの充実

地域内交通の充実を図るとともに、公共交通ネットワークの充実を目指します。

主要な取組例

- 地域と関係団体等が連携した地域内交通の充実
- 地域特性に応じた公共交通ネットワークの形成
- 時刻表や路線図マップ等を活用した公共交通の利用促進 等



文化芸術でつながるまち

南区は、世界遺産である東寺や六斎念仏をはじめとする古くからの文化遺産が息づく一方で、多文化共生のまちとして、多様な文化・芸術が共存しています。

今後も、地域全体で文化遺産を生かし、守るとともに、文化の交流を通して、人と人、人と地域・企業がつながり、京都、国内、世界の文化芸術をつなぐ拠点となるまちを目指します。

取組方針

① 多文化共生のまちづくり

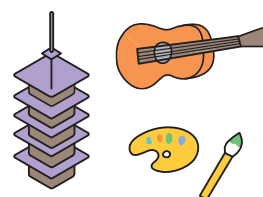
多様な文化が響き合うまちをつくるための交流機会の創出や情報提供を推進します。

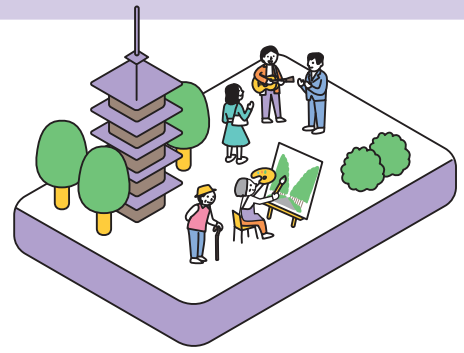


東九条マダン

主要な
取組例

- 外国籍市民との交流による新たな文化芸術創出のきっかけづくり
- 文化芸術を通じた国際理解の深化
- 異なる文化背景や考え方を尊重する意識啓発等の実施
- 情報の発信及び共有による様々な立場の相互理解の促進（再掲）等





取組方針

2 文化芸術が生まれ，広がるまちづくり

地域主体の文化活動を応援するとともに，文化芸術に触れる機会を充実し，南区で文化芸術が生まれ，南区を拠点として世界に広がるまちづくりを目指します。



南区内で活動する
民間の文化芸術団体の例



南区民文化展

主要な
取組例

- 地域に根差した文化活動の推進
- 地域の特徴を生かした，個性あふれる文化芸術の創造
- 京都駅東南部エリアをはじめとした，「文化芸術」と「若者」を基軸とするまちづくりの推進 等

取組方針

3 文化遺産を大切にするまちづくり

地域の伝統文化，歴史に触れる機会を提供し，南区に対する誇りや愛着の醸成を推進します。



南区内における六斎念仏



六孫王神社

主要な
取組例

- 学校等における区内の文化遺産に触れる機会の提供
- 文化の担い手・支え手の育成 等

いのちと暮らしを守るまち

南区では、みなみ力（地域力）により、防災訓練、見守り活動をはじめとした地域主体の安心安全の取組が実施されてきました。

近年激甚化する自然災害はもとより、新たな感染症の拡大を含むあらゆる危機・危険から、子どもからお年寄りまですべての人が守られ、誰もが安心安全に暮らせるまちを目指します。

取組方針

① 災害に強いまちづくりの推進

区民一人ひとりの日頃からの備えとともに、災害時に備えた区民、企業、行政による連携を強化し、事前の対策のみならず被災後もしなやかに復興する災害に強いまちづくりを推進します。



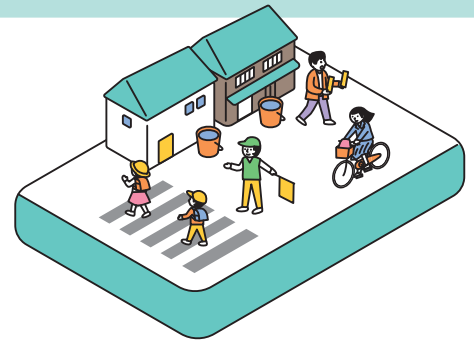
消防団による消防訓練



地域防災力強化「避難所体験型研修」事業

主要な
取組例

- 地域と行政の連携による安全な避難や円滑な避難所運営に向けた準備活動
- 防災マップ等を活用した平時からの区民の防災意識の向上
- 災害時に備えた地域の事業者や公共施設との連携強化
- 消防団等への参加促進
- 防災の取組への学生の参加促進 等



取組方針

2 安心安全で快適な環境づくり

地域と警察をはじめとするあらゆる関係機関が連携を深め、犯罪、交通事故等の予防に努めるとともに、交通ルールの徹底や空き家対策など日々の暮らしを守るための取組を推進します。



世界一安心安全・おもてなしのまち京都
市民ぐるみ推進運動

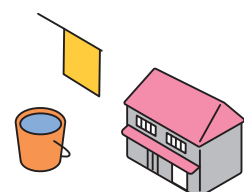


子どもの見守り活動

主要な取組例

- 地域、各種団体、行政が連携した安心安全に向けた取組の実施
- 防犯関係機関の連携による情報共有・情報発信の強化
- 地域と学校が連携した子どもの見守り・安全対策の推進（再掲）
- 自転車マナーや交通ルール等の啓発活動による安全対策の促進
- ゾーン30[※]の浸透を図る情報発信
- 安全で快適に通行できる道路環境の整備
- 地域・行政等との連携による危険な空き家発生予防・放置防止の促進 等

※ゾーン30…生活道路における歩行者や自転車の安全な通行を確保するため、区域（ゾーン）を定めて時速30kmの速度規制などを行う交通安全対策



美しく環境にやさしいまち

南区では、「南区一斉清掃」をはじめとする、地域主体によるまちの美化活動が実施されています。

これらのまちの美化活動を継続するとともに、2050年までの二酸化炭素排出量正味ゼロ^{*}、脱炭素型の暮らしの実現を目指し、地球環境に配慮した取組を進めることによって、環境と共生しながら、環境にやさしいまちを目指します。

※二酸化炭素排出量正味ゼロ…化石燃料（石油や天然ガス、ガソリン等）の燃焼など、人為的な活動により大気中に排出される二酸化炭素の量と、森林吸収などにより除去される量との差し引きでゼロになる状態のこと

取組方針

① 区民も来訪者もみんなで行き組む美しいまち

区民、事業者、行政が一体となり清掃・美化活動を推進するとともに、近年増加する観光客へのごみのマナー啓発等を進めます。

主要な取組例

- 3箇月に一度、南区民全体で行き組む「南区一斉清掃」の継続実施
- 河川敷や周辺道路等の美化清掃活動の促進
- 区民や観光客に対するごみのポイ捨て禁止の周知啓発 等



南区一斉清掃

取組方針

② 地球環境にやさしい取組の推進

区民、事業者、行政が一体となり、そもそもごみになるものを減らしつつ、資源として再利用するなど、環境にやさしい取組を推進します。

主要な取組例

- ごみの発生抑制、再使用の推進
- 分別・リサイクルの徹底
- 省エネルギーの推進、再生可能エネルギーの普及拡大 等



ちびっこエコひろば



取組方針

3 緑化の推進・公園の活用

区民，事業者，行政の協働で緑化に取り組み，緑豊かなまちづくりを推進し，緑豊かな環境の中で，体操やスポーツを楽しめる健康づくりやコミュニティの場として公園の活用を促進します。

主要な取組例

- 住宅，事業所等の緑化の推進
- 区民と企業等の協働による花植え運動の実施
- 地域住民の参加による公園の活用
- 公園ボランティア等と協力した公園の清掃活動の実施 等



花いっぱい運動（祥豊学区）

取組方針

4 地域の特徴を生かした調和のとれた景観づくり

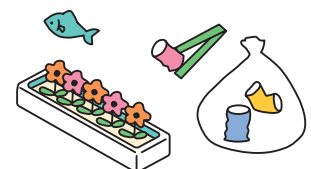
住宅，農地，工場等，様々な用途地域の特性を生かしながら，調和のとれた景観づくりを目指します。

主要な取組例

- 多様な主体の参画による対話に基づいた，良好な景観保全と創出
- 住む人にも働く人にも魅力ある都市環境の形成
- 鴨川，桂川等の上質な親水空間の保全 等



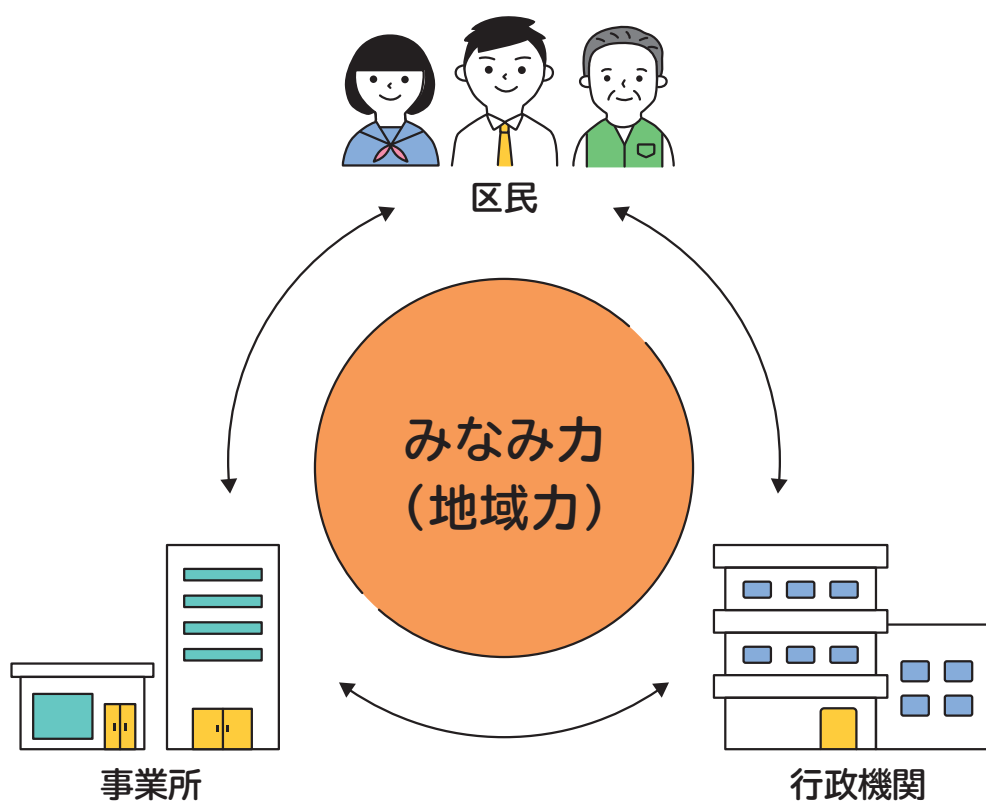
南区の全景



第4章 計画の推進に向けて

区民と行政・事業者等との協働による取組

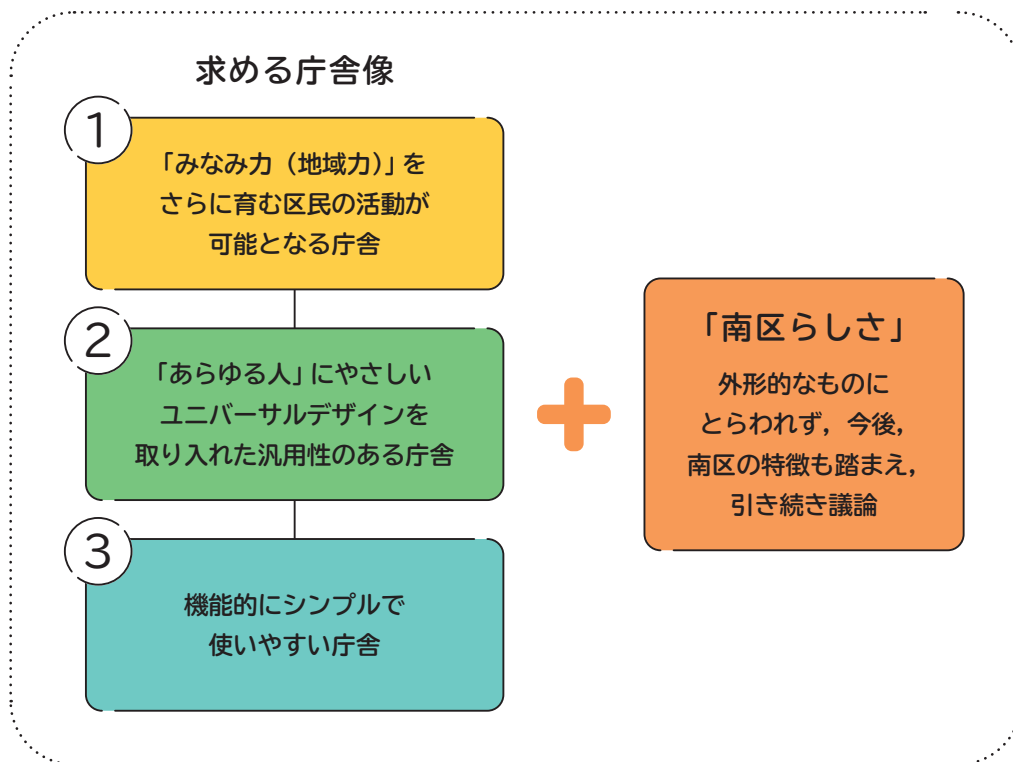
南区基本計画は、区民の皆様方一人ひとりが心掛けていただきたいことや、区民の皆様方と行政・事業者等が協働で実施する取組を掲げています。計画の推進に当たっては、南区のまちづくりを推進する基幹会議となる南区まちづくり推進会議を中心として、計画に掲げた未来像の実現に向け、取組を進めていきます。



南区新総合庁舎の整備に向けた検討

区民の皆様方のまちづくりの拠点となる、南区新総合庁舎の整備に向けた計画づくり等、今後、より多くの区民の皆様方の御意見をいただきながら、デジタル化等の時代の潮流を踏まえつつ、検討を進めていきます。

南区総合庁舎は、昭和42年の竣工以来、築50年を超え老朽化が進行しており、新庁舎の整備について検討を始める時期にきています。こうしたことから、平成30年度に、南区のまちづくりの基幹会議である「南区まちづくり推進会議」の部会において、意見聴取及び検討を行い、部会の皆様方からいただいた御意見等を「求める庁舎像」として取りまとめています。



区民に愛され、親しまれる「区役所」

京都市の厳しい財政状況

京都市の財政状況は、現在極めて厳しい状況にあり、今後徹底した改革を進めていく必要があります。とりわけ、直近の令和3年度から令和5年度までの3年間は、現下の危機的な状況を克服し、持続可能な行財政運営に道筋をつけるため、歳出等の改革に集中的に取り組んでいくこととしています。

財政が厳しい中でも充実した行政サービスを維持

市民一人当たりの市税収入が他都市より少ない中、高い水準の福祉・医療・教育・子育て支援などを実施。その水準を維持するため、職員数の削減や事業の見直しなどの行財政改革を行うとともに、担税力の強化に向け、都市の魅力向上につながる取組など成長戦略の推進に取り組んできました。しかし、国からの地方交付税が大幅に削減され、収入が伸び悩む中、高齢化による社会福祉関連経費などの支出が増加。行財政改革の取組だけでは必要な財源を賄いきれなかったことから、将来の借金返済の積立金（公債償還基金）などを取り崩し、将来世代へ負担を先送りしている状態です。

具体的成果

- ▷ 保育所待機児童が8年連続ゼロ
- ▷ 大雨への浸水対策済み
面積割合が全国トップ水準（市91%、全国60%）等

今後の収支見通しと財政再生団体になる危機

新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり、市税収入の早期回復が見込めない中、社会福祉関連経費が増加する見込みです。歳入増加・歳出削減の取組を反映させない場合、毎年度の収支不足額が500～600億円まで拡大し、財政再生団体になると、急激かつ大幅な市民サービスの低下が避けられません。

影響(例示)

- ▷ 国民健康保険料
約3割値上げ
- ▷ 保育料約4割値上げ 等

今後の改革の視点

今後、「行財政改革計画」(令和3年8月策定)に基づき、市民の皆様の御理解のもと、真に必要な施策を持続可能にするため、組織・人員体制の適正化や事業の見直し、受益者負担の適正化、公共施設のマネジメント等に取り組むとともに、若者や企業の定着を図り、支え手を増やすことで税収増につなげ、全ての世代が暮らしやすく、魅力・活力あるまちを目指します。

具体的方針

- ▷ 職員数削減・人件費抑制
- ▷ 補助金・イベントの見直し
- ▷ 若者・子育て世代の定住促進、文化と経済の好循環の創出などの成長戦略の推進 等

区民意見を踏まえた計画策定

南区基本計画の策定に当たっては、自治会、企業、学校関係者などで構成される南区基本計画策定委員会を開催し、理想的なまちの姿などに関する区民アンケートや、パブリックコメントなどでいただいた数多くの区民の皆様の声を踏まえ、多様な見地から御議論いただきました。

1. 区民アンケート

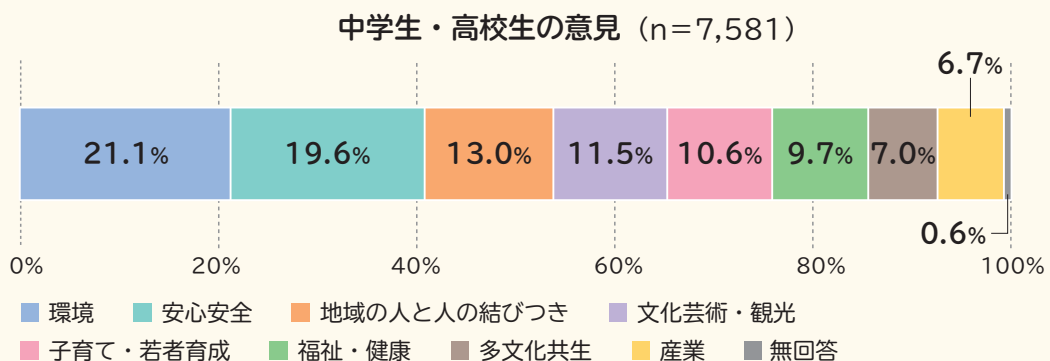
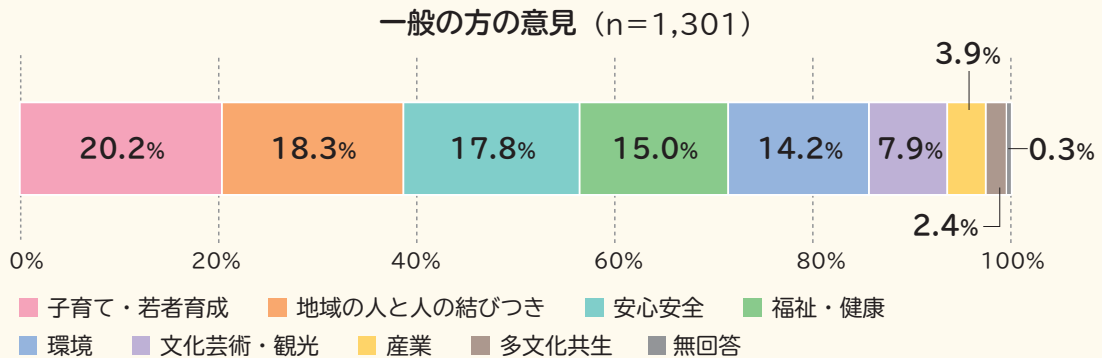
計画策定委員会における具体的な議論を進めるに当たって、区内で実施されたイベントの来場者や、区内の中学校・高等学校の生徒を対象にアンケートを実施しました（令和元年10～12月）。

アンケートでは、「これからも大事にしていきたい・もっと良くなってほしい分野」と「そのためにあなたが行動すること」などをお聞きし、約2,700人の幅広い区民の皆様から御回答をいただきました。

中高生以外の一般の方は、「子育て・若者育成」、「地域の人と人の結びつき」、「安心安全」を、中高生は「環境」、「安心安全」、「地域の人と人の結びつき」を重要視していることが分かりました。



南区でこれからも大事にしていきたい・
これからもっと良くなってほしい分野はどの分野ですか？（複数回答）





未来の南区がもっと住みやすいまち（理想的なまち）になるために、
こうなったらいいのと思うことを教えてください。
また、そのためにあなたが行動することを教えてください。

▷ 地域の人と人の結びつき

凡例 ● 一般の方の意見 ■ 中学生・高校生の意見

未来の南区がこうなったらいいのと思うこと	あなたが行動すること
<ul style="list-style-type: none"> ● ■ みんなが笑顔でいきいきと暮らせるまちになってほしい ● ■ 人と人のつながり・結びつきを大切にする ■ もっと地域の人とコミュニケーションをとり、明るい南区を目指す ■ 挨拶が絶えない地域 ■ 誰でも気楽に住める、住み心地がよいまちになってほしい ■ 一人ひとりが原動力となり、活発に動けるまちづくり 	<ul style="list-style-type: none"> ● ■ 地域の人とコミュニケーションをとる（まずは挨拶！） ● ■ 積極的に色々な場所へ行き交流を深める ● ■ 地域のイベントに積極的に参加する ● ■ 一人ひとりがまちをつくっていることを自覚する ● 地域の人と結びつくことで情報を共有する ■ 南区の良さを理解して、人に伝える ■ 思いやりを持ち、困っている人がいたら助ける

▷ 子育て・若者育成

未来の南区がこうなったらいいのと思うこと	あなたが行動すること
<ul style="list-style-type: none"> ● ■ 子育てしやすい環境に！ ● 子どもたちが安全に自由に楽しく過ごせる場があれば良い ■ 夢を持った若者へのサポートが手厚いまち ■ 若者が地域のつながりを大切にする 	<ul style="list-style-type: none"> ● 子どもが住みやすいまちづくりに協力する ■ 保育関係の仕事に興味を持つ ■ 小さい子が悪いことを覚えないように見守る ■ 地域について高校・大学で研究してみたい

▷ 福祉・健康（障害者・高齢者支援等）

未来の南区がこうなったらいいのと思うこと	あなたが行動すること
<ul style="list-style-type: none"> ● ■ 子どももお年寄りも障害のある方も住みやすく、すべての人が安心して過ごせるまち ■ 小さい子から高齢者まで違う世代でも助け合い、挨拶が当たり前になるような南区！ ■ 人権を大切に差別をなくす 	<ul style="list-style-type: none"> ● お年寄りや小さな子が困っていたら手助けする ■ 地域の高齢者などとの関わりを増やし、地域の文化を学ぶ ■ 障害のある方や高齢者など、困っている人に優しくする

▷ 産業（企業活動・農業振興）

未来の南区がこうなったらいいのと思うこと	あなたが行動すること
<ul style="list-style-type: none"> ● ■ 若者が起業しやすい環境を整える ■ 南区の歴史ある農産物をPRし、観光に生かす ■ 地産地消を心がける 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 地域特有の産業を大切にする ■ 地元企業と連携してボランティア活動に参加する

▷ 文化芸術・観光

未来の南区がこうなったらいいのと思うこと	あなたが行動すること
<ul style="list-style-type: none">● ■ 東寺をはじめとした文化財を守る■ 観光客と住民が共存できる南区を目指す■ 国内外からの観光客を温かく迎える■ 子どもが京都の文化芸術に気軽に触れられる機会を設ける	<ul style="list-style-type: none">● ■ 文化芸術に関するイベントに積極的に参加する■ 南区にある神社仏閣を巡る■ 南区の歴史、文化を調べ観光案内でできるくらいの知識を深める■ 他国の観光客と積極的に関わる

▷ 安心安全（防災・子ども見守り）

未来の南区がこうなったらいいのと思うこと	あなたが行動すること
<ul style="list-style-type: none">● 事故や犯罪などのない安全な地域になってほしい■ 子どもから大人までが安心安全に暮らせる	<ul style="list-style-type: none">● 防災の備えとして、非常用水、食料を準備する■ 自転車の交通ルールを守る、夜になればライトをつける、信号を守る■ 災害が起きたらボランティア活動など積極的に参加する

▷ 多文化共生

未来の南区がこうなったらいいのと思うこと	あなたが行動すること
<ul style="list-style-type: none">● ■ 多文化・異世代が交流する機会を増やす■ 色々な国や地域の人と互いに文化を大切にし、尊重する■ 外国の人々が多いまちなので、外国人も暮らしやすいまちを目指す■ 他の国の人や障害のある方などへの差別をなくす	<ul style="list-style-type: none">● 道に迷っている外国人にやさしくする■ 多文化をお互いに認め合い、挨拶や交流を図る

▷ 環境（まちの美化・ごみ減量）

未来の南区がこうなったらいいのと思うこと	あなたが行動すること
<ul style="list-style-type: none">■ ごみが少なく、ポイ捨てをしない■ 自然環境を守る■ 美化活動に取り組み美しいまちを目指す■ 学生が地域と協力してまちのごみ減量に向けた活動を行う	<ul style="list-style-type: none">● ■ 美化・清掃活動やボランティア活動に参加する■ 環境について考え、できるだけ無駄をなくす■ 今ある川や森を大切にして、保護活動にも取り組む■ ものを大切にする

2. パブリックコメント

計画策定委員会で取りまとめた計画素案を区民の皆様にお示しして、計画素案に対する御意見とともに、親しみやすい計画となるようなキャッチフレーズを募集しました。

区内の中学校・高等学校にも協力をお願いし、中高生627人を含む691人の方に意見を提出していただきました。

(1) 募集期間

令和3年4月1日（木）～令和3年4月30日（金）

(2) 周知方法

- 意見募集冊子の配架(区役所・出張所, 図書館, 青少年活動センター, いきいき市民活動センター等)
- 南区まちづくり推進会議構成団体等, 関係団体への周知
- 市民しんぶん区版, 区役所ホームページ, 各種SNSによる周知
- 区内の中学校・高校を通じて, 中高生に意見提出依頼

(3) 募集結果

① 意見数

意見者数

691人
(一般64人, 中高生627人)

意見総数

南区基本計画(案) 221件
キャッチフレーズ 654件

② 意見をいただいた方の年齢層

年代	人数	割合
20歳未満	630人	91.2%
20歳代	8人	1.2%
30歳代	10人	1.4%
40歳代	6人	0.9%
50歳代	15人	2.2%
60歳代	8人	1.2%
70歳代以上	3人	0.4%
無回答	11人	1.6%
合計	691人	100.0%

③ 意見の区分

区分		件数
第1章	南区基本計画策定に当たって	45件
第2章	南区の概要	2件
第3章	めざす未来像と取組【全般】	9件
	① みなみ力(地域力)が息づくまち	12件
	② 子ども・若者が育つまち	15件
	③ 健やかに暮らせるまち	15件
	④ 活力あふれるまち	40件
	⑤ 文化芸術でつながるまち	6件
	⑥ いのちと暮らしを守るまち	34件
⑦ 美しく環境にやさしいまち	35件	
第4章	計画の推進に向けて	8件
合計		221件

④ キャッチフレーズ

パブリックコメントでは、計画策定委員会で取りまとめた「みなみ力ではぐくむ みんなが住みやすいまち 南区」を案としてお示しし、これに限らず自由に御意見を募集しました。

その結果を踏まえて計画策定委員会で議論を行い、特に中高生から多く寄せられた「笑顔があふれる」とのキーワードを盛り込んだキャッチフレーズ「みなみ力ではぐくむ みんなの笑顔があふれるまち 南区」に決定しました。

南区基本計画の策定経過

	日時	内容
令和 元年度	9月27日	南区基本計画策定委員会第1回会議 <ul style="list-style-type: none"> ■ 現行基本計画の総括 ■ 次期基本計画の策定に向けて
	10月～12月	区民アンケート <ul style="list-style-type: none"> ■ 区内で実施されたイベントの来場者及び中学校・高等学校の生徒を対象にアンケートを実施 ■ 回答者数約2,700人
	11月20日	南区民ふれあいカフェ「みなみなみなみ」 <ul style="list-style-type: none"> ■ 南区の未来像について
	12月19日	南区基本計画策定委員会第2回会議 <ul style="list-style-type: none"> ■ 次期基本計画の構成・取組内容 ■ 次期基本計画のキャッチフレーズ（案）
	3月10日	南区基本計画策定委員会第3回会議 <ul style="list-style-type: none"> ■ 次期基本計画（素案）について ■ 次期基本計画のキャッチフレーズ（案）
令和 2年度	11月27日	南区基本計画策定委員会第4回会議 <ul style="list-style-type: none"> ■ コロナ禍を踏まえた取組の反映について
令和 3年度	4月1日～ 4月30日	パブリックコメント <ul style="list-style-type: none"> ■ 次期基本計画に対する意見とキャッチフレーズを募集 ■ 意見者数691人
	6月23日	南区基本計画策定委員会第5回会議 <ul style="list-style-type: none"> ■ パブリックコメントを踏まえた意見の反映について

南区基本計画策定委員会 委員名簿

天野 広一 唐橋学区自治連合会
 (委員長) 南区「はぐくみ」ネットワーク実行委員会
 南少年補導委員会
 田中 一明 九条学区自治連合会
 南区社会福祉協議会
 野村 良博 吉祥院学区自治連合会
 南区共同募金委員会

山田 信之 日本新薬株式会社
 山田 正志 京都中小企業家同友会南支部
 植松 明彦 市民公募委員
 矢田貝宏美 市民公募委員
 小野 恭裕 京都市立塔南高等学校校長
 石原 凌河 龍谷大学政策学部准教授
 敬称略，順不同



令和3年8月発行 京都市印刷物 第033101号
発行 南区役所地域力推進室企画担当
〒601-8511 京都市南区西九条南田町1-3
TEL. 075-681-3417 FAX. 075-671-9653
<https://www.city.kyoto.lg.jp/minami/>